

まほらいな市民大学講座・郷土芸能シリーズ

古田人形芝居公演

〔 傾城阿波鳴門 順礼歌の段 〕

箕輪町 「古田人形芝居保存会」

令和6年 6月 2日(日) 13:30~15:00

伊那市生涯学習センター ニシザツいなっせ ホール

古 田 人 形 芝 居 の 概 要



箕輪町上古田を中心として伝承される人形芝居です。安永年間(1772~1780)、村に人形遣いが落ち着き、盛んになったと言われています。明治になって鑑札制度などによって低迷の時期が続いた後、大正 13(1924)年に上古田に保存組織ができ、戦後、古田人形芝居として活動を活発化させてきました。昭和 54(1979)年、箕輪中学校にクラブが発足、平成 5(1993)年には古田人形芝居振興協力会が発足。人的にも経済的にも支える体制が整う中、平成10(1998)年には、オーストリアのウィーンやリンツにおいて、ヨーロッパ公演も成功させています。今回は人形の操作を含め、「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」を公演していただきます。

生 涯 学 習 課